

# 詩人アーサー・ビナード 高校生と公開授業

受講生は定員 40 名、先着順！

受講高校生

募集！

一般の方の  
聴講参加も

歓迎！

## 第1部 授業

## 「言の葉食堂へ いらっしやい！」



くわしい  
ご案内は  
ウラ

言葉は伝達のための道具ではあるが、同時に生活を吟味するツールという役割も果たす。人間は、食物も言語も飲み込み、両方の栄養によっていかされる。しかし放射能汚染が食の安全を脅かしている今、言葉のペテン汚染度も深刻だ。

授業では、日本語と英語を自由自在に使う詩人が、あざやかな包丁さばきで、滋養に富む表現と有害な表現を切り離し、料理していきます。ハングリーな心をもって、ご参加ください。（アーサー）

とき 2011年 9月18日(日)

じかん 授業 13:30～15:00

対談 15:10～16:30

はしよ フォレスト仙台 2F ホール

さんかひ 無料

## 第2部 対談

## 「ウソとの戦い」

第1部の授業を受けてのアーサー・ビナードさんと小森陽一さんによる対談

■主催 (財)宮城県教育会館みやぎ教育文化研究センター

TEL:022-301-2403 FAX:022-290-4026 URL:http://mkbkc.com/



## アーサー・ビナード (Arthur Binard)

1967年、米国ミシガン州生まれ。ニューヨーク州コルゲート大学で英米文学を学ぶ。90年に来日、日本語での詩作を始める。2001年に詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞、05年に『日本語ぼこりぼこり』(小学館)で講談社エッセイ賞、07年に『ここが家だーベンチャーの第五福竜丸』(集英社)で日本絵本賞、08年には『左右の安全』(集英社)で山本健吉文学賞を受賞。

詩人として本業の詩作以外にも、絵本作家に翻訳家、エッセイストに、さらにはラジオパーソナリティーとマルチな顔を持つ。まさに、言葉の快人20面相???

09年1月に「日本語の海にもぐった私」、同年8月には「詩人・菅原克己を語る」の講演を、研究センターで行っている。



## 小森 陽一 (Komori Youichi)

1953年、東京生まれ。現在、東京大学教授。専門の日本近代文学はもとより、憲法、教育基本法「改正」反対でも積極的に発言・行動し、「九条の会」事務局長でもある。

主な著書に『漱石を読みなおす』(ちくま新書)、『出来事としての読むこと』(東京大学出版会)、『小森陽一ニホン語に出会う』(大修館書店)、『最新 宮沢賢治講義』(朝日新聞社)、『座談会昭和文学史』(共著 集英社)、『天皇の玉音放送』(五月書房)、『漱石論 21世紀を生き延びるために』など多数。

06年に宮城の高校生と公開授業「宮沢賢治 鳥の北斗七星」を行い、その後も仙台一高や川前小学校でも授業をし、アーサー・ビナードさん公開授業の影の仕掛け人でもある。

### (受講・一般参加について)

★受講募集定員 高校生40名

(募集受付は先着順とし、定員になり次第閉め切ります。)

★参加料は受講生、一般参加ともに無料です。

★受講申し込み・問い合わせは、みやぎ教育文化研究センターまで

(TEL:022-301-2403 FAX:022-290-4026 e-mail:mail-mkbkc@mkbkc.com)

※ 第1部公開授業については、一般のみなさんは、受講高校生のまわりからの参観形式の参加となります。

友達を誘って参加しよう!

